フィリップ モリス ジャパン

プレスリリース

2026 年 11 月 10 日

フィリップ モリス ジャパン合同会社

フィリップ モリス ジャパン、大阪府との包括連携協定に基づき、地域防災力向上に向けた取組みを推進

フィリップ モリス ジャパン合同会社（本社：東京都千代田区、社長：コスタス・サルヴァラス、以下「PMJ」）は、11 月 7 日（土）から 8 日（日）に大阪府等が主催した「令和 8 年度近畿府県合同防災訓練」において、避難生活支援ネットワーク「EDAN」（Essential Disaster Assistance Network、読み：イーダン）による防災展示ブースの出展を支援しました。

本取組みは、2026 年 3 月に PMJ が大阪府と締結した包括連携協定に基づき、地域の防災・減災および防災力の強化に向けた活動の一環です。今回大阪府等が主催した近畿府県合同防災訓練は、大規模地震の発生を想定し、近畿 2 府 7 県や防災関係機関が合同で実施されました。



11 月 8 日（日）に EDAN が出展した防災展示ブースでは、災害発生時の避難生活環境や支援物資の重要性について広く発信しました。また、災害発生後の避難生活をより具体的にイメージしていただけるよう、展示では、「紙管パーテーション」を用いた間仕切りと、「段ボールベッド」を用いて実際の避難空間を再現し、来場者にダンボールベッドの寝心地を体感いただきました。あわせて、水を使わない簡易トイレや、災害時の食事提供などに活用されるキッチンカーも展示しました。

また、EDAN のブースを通じて、平時からの備えに加え、発災時に必要な物資を迅速に届ける支援体制の重要性についても発信しました。

PMJ が支援する EDAN は、2025 年 9 月に発足以来、災害時の支援に向けて備蓄物資の拡充を進めています。こうした平時からの備えを基盤に、2026 年 7 月に発生した熊本地震においても迅速に支援活動を行い、避難所における生活環境の確保に向けた支援を実施しました。

PMJ の企業活動の根底には、「リスクを完全にはなくせなくとも、その影響や害をできる限り低減する」という考え方を大切にしています。この考え方は、防災・減災が目指す「被害を少しでも減らす」という理念とも深く通じるものであり、PMJ が EDAN の設立を支援した原点の一つとなっています。今後も、大阪府との包括連携協定に基づき、EDAN をはじめとする関係団体への支援を通じて、地域社会の防災力向上に貢献してまいります。

■EDAN（Essential Disaster Assistance Network）とは

EDAN（イーダン・Essential Disaster Assistance Network）は、フィリップ モリス ジャパン合同会社（PMJ）が発起人として構想立案に関わり、運営資金を提供している、特定非営利活動法人 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）および複数の災害支援団体とともに設立された日本初の民間主体による避難生活支援に特化したネットワークです。災害関連死ゼロを目指し、発災後 48 時間以内に TKB（トイレ・キッチン・ベッド）を被災地へ迅速に届ける体制を、専門的な知見を活かして構築しています。平時の事務局運営および発災時の現場調整は、公益社団法人ピースボート災害支援センター（PBV）が担っています。

https://edan-bosai.jp/

■令和 8 年度近畿府県合同防災訓練・「EDAN」ブースの概要

ブース名称：EDAN

開催日時：2026 年 11 月 8 日（日） 午前 9 時～13 時

場　　所：堺泉北港堺 2 区基幹的広域防災拠点（住所：大阪府堺市堺区匠町 3-2）

フィリップ モリス ジャパン

PMIの企業ビジョン:「煙のない社会」のグローバルリーダー

フィリップ モリス インターナショナル(以下「PMI」)は、「煙のない社会」の実現を目指し、長期的に紙巻たばこやニコチン以外の製品を含むポートフォリオの進化に取組む国際的消費財企業です。現在の製品ポートフォリオは、主に紙巻たばこおよび煙の出ないたばこ又はニコチン含有製品(以下「煙の出ない製品」)で構成されています。PMIの煙の出ない製品は、2026年9月30日時点で、世界で110市場における主要都市ないし全国規模で展開しており、2025年12月31日時点で、全世界で4,300万人以上の成人喫煙者(日本においては20歳以上、以下同)がPMIの煙の出ない製品を使用していると推定されています。煙の出ない製品に関連する事業は、PMIの2026年第3四半期において、純売上の40%を占めています。PMIは2008年以降、160億米ドルを投資し、紙巻たばこの販売終了を目指して、喫煙を続ける成人喫煙者のために革新的な煙の出ない製品の開発、科学的実証、市販化を行っています。これには、特に前臨床システム毒性学、臨床・行動研究、市販後調査の分野における世界トップクラスの科学的評価能力の構築が含まれます。科学的根拠に基づく厳格な審査の結果、米国食品医薬品局(FDA)は、スウェディッシュマッチ社の製品 General snus および経口ニコチンパウチ ZYN、ならびに PMI 社の一部の IQOS デバイスとたばこスティックの販売を許可しました。これは、それぞれのカテゴリーで初めての許可となります。また、一部 IQOS デバイスとたばこスティック、General snus、ならびに 20 種類の経口ニコチンパウチ ZYN も、初めてのリスク修飾(軽減)たばこ製品(MRTP: Modified Risk Tobacco Products)として FDA の許可を取得しました。ライフ・サイエンス分野における強固な基盤と重要な専門性を持つPMIは、ウェルネス分野への拡大を長期的な目標としており、シームレスな健康体験の提供を通じて生活をより豊かにすることを目指しています。詳細は、PMIのウェブサイト(www.pmi.com)およびPMIサイエンス(www.pmiscience.com)をご覧ください。

「煙のない社会」を目指すPMJについて

フィリップ モリス ジャパン(PMJ)は、PMIの日本における子会社です。日本で販売されるPMI製品のマーケティング・販売促進活動を行っています。PMJ は 1985 年に日本で営業を開始して以来、事業拡大と成長を続け、全国に約 1,600 人の従業員を擁し、日本のたばこ市場で43.4%のシェア(2026年第3四半期決算)を有する、加熱式たばこを中心に市場を牽引する企業です。

PMJ は PMI が掲げる「煙のない社会」を目指す取組みをここ日本で推進しています。「煙のない社会」の実現を目指し、加熱式たばこのみ利用可能な「煙のない」施設や観光地などを全国で広げる取組みを進めています。詳しくは PMJ ウェブサイトをご覧ください:

https://www.pmi.com/markets/japan/ja/home